

病院長殿

社団法人 宮城県放射線技師会
会長 阿部 養悦

環境放射線量データ測定のご依頼

平素は、本会にご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、福島第1原子力発電所の事故発生により、環境中の放射性物質の量が増大しました。宮城県においては、東日本大震災の津波により、測定機器類が甚大な被害を受け、事故発生直後は測定できない状態がつづいていました。現在は、測定器を車に載せ、主に県南部を中心に簡易測定を行っているのが現状と聞いています。しかし、飛散した放射性物質の分布は、風向き、地形により、原子力発電所からの距離によらないことも考えられます。県内の医療施設、特に核医学検査を行っている施設においては、継続的に、環境の放射線量を測定しているものと思われます。また、線量計を保有している施設においては継続的に環境放射線量を測定することが可能な施設もあると思われます。本会では、県内の医療機関で測定したデータを、一括して評価し、県民の皆様に安心の材料としていただこうと考えています。

つきましては、貴施設において測定が可能でありましたら、ぜひご協力頂きたくお願い申し上げます。